

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	このこのビレッジ八王子追分			
○保護者評価実施期間	2025年6月2日 ～ 2025年6月25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	2025年6月2日 ～ 2025年6月25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年6月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。」に関する取り組みについて。	毎月、季節や月毎に関するテーマでの制作物を決め、児童個々が必ず政策に取り組む機会を作っています。読み聞かせも定期的に行っており、映像や音をとおしてイメージしやすくする等、取り組んでいます。	月毎のテーマが違うことで、毎月違った感覚を味わえる活動になります。また制作の材料から感触遊びに発展したり、楽器を演奏したりと幅も広がります。今後も継続し、通所の楽しみにつながるようにしていきます。
2	「子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されているか」に関する取り組みについて。	定期的な面談の際に、療育面のみならず、個々のお困りごとやご要望などを丁寧に伺いするように心掛けています。	お子様の成長のことや基礎疾患の医療的ケアの変更など、定期的な面談のみならず、都度のヒアリングをとおして変更点や支援内容の変更を行うようにしています。
3	「定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか」に関する取り組みについて。	毎月発行している通信をとおして活動内容を紹介しています。また、利用都度の個々のSNS連絡をとおして、写真などでわかりやすく活動詳細を共有するよう取り組んでいます。	SNSでの連絡は公表をいただいています。ご家庭では見せない表情や、他の児童との交流、集団での遊びや活動を発信することで、新たな気づきにもなることを期待しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「職員の配置数や専門性は適切であるか」に関する取り組みについて	法令での配置基準には準拠しておりますが、常に十分なケアを提供するために、余裕をもった支援のために職員のスキルアップが必要な局面もあります。	専門職員の採用計画も進めており、また並行して研修制度の充実を図り、各位のスキルアップも図っていきます。
2	「保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか」に関する取り組みについて。	近隣の祭りなどの地域交流の機会を設けるようにしていますが、感染症の流行に伴い、機会が減っている状況はあります。	当事業所の特性上、感染症の流行期や寒暖差がある時期を避けるなど、安心して交流できる時期は少ないのが現状にあります。限られた時期になるかもしれませんが、機会を少しずつ作って行きたいと思っています。
3	「父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか」に関する取り組みについて	ご要望は少しございますが、定期的な保護者会などはご負担も増えると思われ、実施の検討で進んでいない状況にあります。	回数を分けての開催など、丁寧にご要望をヒアリングし、可能な形で開催を調整したいと思っています。